



子どもの森づくり通信

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

〒146-0094 東京都大田区東矢口2-6-14 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081

<https://www.kodomono-mori.net> mail:info@kodomono-mori.net

J P 子どもの森づくり運動
隔月発行会報
(2025年7月号)

「J P 子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



子森通信2025年7月号をお送りします。

今回は、岩手県大槌町で開催された「東北復興グリーンウェイ」植樹会のレポートと
オンライン講座のご案内です。詳細は、ホームページをご参照ください。

オンライン講座は毎年好評ですが、今年も充実した内容となっておりますので、ぜひご参加ください。

写真は、全国の園児が育てて岩手県大槌町に植えられたどんぐりの苗木です。

こんなに大きくなりました。

(目次)

1. 「東北復興グリーンウェイ」2025年度植樹活動レポート
2. J P 子どもの森づくり運動 2025年度オンライン講座のご案内
3. リレーエッセイ (2025年7月号) - 共にふりかえる「東北復興グリーンウェイ」(その2) -

日本郵政グループからのお知らせ

日本郵政グループは「J P 子どもの森づくり運動」の支援
のほか、子ども達に向けた様々な取り組みを行っています。

【特別協賛】

JP 日本郵政グループ



ぼすくまの動画はこちら

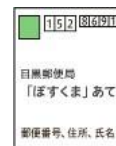


YouTube
ぼすくま【日本郵便】
https://www.youtube.com/channel/UCeio0TZWe2WgapX_NqUUZ9A

ぼすくまと仲間たち
© JAPAN POST Co., Ltd.

ぼすくまと仲間たちは
郵便局のキャラクターです。
ぼすくまは、くまのぬいぐるみの
郵便屋さんです。仲間たちも
みんな手紙が大好きです。

お手紙をくれたみんなに
ぼすくまからお返事が届くよ!



あて先はこちら

〒152-8691
目黒郵便局「ぼすくま」あて

※ぼすくまへのあて先を記入の際、保護者の方のサポートをお願いします。
返信ご希望の場合は、手紙に住所（建物名・部屋番号まで）・氏名を忘れず記載ください。

1. 「東北復興復興グリーンウェイブ」2025年度植樹活動レポート

「東北復興グリーンウェイブ」の活動は、今年で13年目を迎えていただきました。活動は、東北の子どもたちと全国の子どもたちが「どんぐりの絆」で結ばれ、震災の記憶を受け継ぐ活動です。今年も全国の子どもたちが育てた東北のどんぐりの苗木が届きました。以下、岩手県大槌町で開催された、植樹会の開催レポートをお送りします。

1) 開催概要

日 時	2025年5月22日(木)10時～11時
会 場	岩手県上閉伊郡大槌町吉里吉里1丁目3-53 大槌町苗畑
主催／共催	幼保連携型認定こども園「つつみこども園」／子森ネット
特別協賛／後援	日本郵政グループ／大槌町
参 加 者	つつみこども園、吉里吉里保育園、あかまえこども園、山田町第一保育所、とよまねこども園、織笠保育園
植樹本数	約60本

2) 開催レポート



大槌町の苗畑で宮古市、山田町の子どもたちを大槌町の子どもたちが迎えてくれました



「つつみこども園」芳賀潤さんの主催者ごあいさつ



大槌副町長 菊池学様 ごあいさつ



「どんぐり博士」武田さんから植樹の仕方を教えていただきました



子どもたちが「おおきな～れ！」と、言いながら植樹してくれました



最後に、みんなで恒例の記念撮影です。

2. J P子どもの森づくり運動 2025年度オンライン講座のご案内

J P子どもの森づくり運動では、今年度も保育・幼児教育をサポートするオンライン講座をご案内します。

詳細は、ホームページでご案内しておりますのでご参照ください。皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

1) 自然体験活動サポート・オンライン講座（参加費無料）

自然体験活動を推進するために、活動における様々なリスクに対応する実践的なリスクマネジメント講座を開催します。詳細は、ホームページで案内中です。

・テーマ：自然体験活動における実践的なリスク管理

・開催日：2025年8月8日(金)14:00～15:30

・講師：札幌大谷大学短期大学部 教授 田中 住幸先生

（講師からのメッセージ）

保育者養成の仕事とあわせて、幼稚園や保育所への自然体験活動の出前活動も行っています。自然体験や保育の安全対策に関する活動にも取り組んでいます。

※参加申し込み：右のQRコード、及びホームページからお申込みください。



2) 「園庭緑化運動2025」オンライン講座（参加費無料）

「園庭緑化運動」では、園庭緑化の普及と活動をサポートすることを目的に、今年も活動の第一線で活躍する講師を迎えたオンライン講座を企画しました。今年も充実した講座内容となりました。是非、ご参加ください。

●8月講座

・テーマ：子どもたちのために園庭に植えたい植物

・開催日：2025年8月22日(金)14:00～15:30

・講師：むぎの穂保育園 理事長 出原 大先生

※参加申し込み：右のQRコード、及びホームページからお申込みください。



●10月講座

・テーマ：気づく・感じる・喜ぶ生活

～身近な自然と出会う日々の中で～

・開催日：2025年10月23日(木)14:00～15:30

・講師：お茶の水女子大学

「お茶大アカデミック・プロダクション寄附講座」

教授 宮里 暁美先生

※参加申込み：右のQRコード、及びホームページからお申込みください。



3. リレーエッセイ（2025年7月号）ー共にふりかえる「東北復興グリーンウェイブ」(その2)ー

「東北復興グリーンウェイブ」の活動は、東北のどんぐりを拾って参加園に届け、送り返された苗木を地元の森に植える「東北の参加園」と、東北から届けられたどんぐりを苗木に育て、送り返す「全国の参加園」の子どもたちが、“どんぐりの絆”で結ばれて推進されています。ここでは、それぞれの園からのメッセージによって、13年間の活動を共にふりかえりたいと思います。

➤ 心の絆を育む大切な活動 岩手県「あかまこども園」 園長 小関憲一

東日本大震災後、大人たち同様に子どもたちも大きなストレスを受けており、保育現場では子どもたちの心のケアが始まっておりました。そのような時に東北復興グリーンウェイブの植樹活動に参加して、子どもたちと共に過ごした時間は、とても意義深く感動的でした。被災地の子どもたちがどんぐりを拾って届け、全国の



子どもたちが大切に育て、心温まる励ましのメッセージと苗木を送り返して頂く、岩手沿岸部での植樹活動は、未来への希望を育むプロセスでもあると実感しました。子どもたちは、木を植えることで自然と触れ合い、自分たちの手で何かを生み出す喜びを感じていました。子どもたちの純粋な笑顔や、一生懸命に土を掘り、苗畑に木を植える姿を見ることで、私たちも多くのエネルギーをもらいました。また、震災を経験した子や、その後の経験のない子どもたちが、自然環境や地域コミュニティーへの思いを新たにすることが出来て心が温かくなりました。

植樹活動は、復興の一環だけではなく、子どもたちの心の成長や絆を育む大切な時間であったと思います。これを機に、自然を大切にする心や、共に支え合うことの大切さを学んでくれたら嬉しいです。将来、子どもたちが大人になった時、植樹会で植えた木々がしっかりと成長して、子どもたちの思い出となり、支えとなることを願っています。

この活動を通じて、私たち自身も地域の一員としての責任や愛着を再確認することができました。今後も災害は、いつ起こるかわかりませんが、これからも子どもたちと共に防災を学び、地域の復興に貢献できるように努力していきたいです。全国の参加園の皆様、日本郵政グループの関係者の皆様、そして子森ネットのスタッフの皆様、本当にありがとうございました。（写真：同園における東北のどんぐりの苗木の植樹活動）

➤ 「東北復興グリーンウェイブ」13年間をふりかえって

広島県「認定子ども園みのり愛児園」 園長 福島ニール圭治

震災当初は、自分たちは何をしたらよいのか、何ができるのかなど思うばかりで、行動に移せず、そんな中、JP子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」の活動の話を頂き、子どもたちの大好きなどんぐりを通して、東北復興のお役に立てるのなら…という喜びと感謝の思いで参加させて頂きました。



活動を通して、微力ではありますが、園の子どもたちと東北復興のお手伝いができたことを嬉しく思います。毎年秋にどんぐりが届くたびに、震災のこと、どんぐりを拾ってくれた東北の子どもたち、そして東北の山に思いを巡らす機会となりました。子どもたちの大好きなどんぐりへの興味関心が深まり、自然や命の大切さを感じる機会に繋がっていったように思います。

13年間活動に参加できたことは、当法人園にとってかけがえのない経験となりました。ひと粒のどんぐりから始まった命のリレー。その小さな芽が育ち、やがて被災地に根を張る様子に、自然の力強さや希望の光を感じました。

昨年、東北から届いたどんぐりも春に芽を出してかわいい苗木に育っています。来年の最後の「お見送り会」に向けて子どもたちと大切に育てていきたいです。13年間、本当にありがとうございました。どんぐりの森がこれからも被災地で大きく力強く育つことを、心から願っています。（写真：同園における東北のどんぐりの苗木を見送る活動）